

先生方からのメッセージ

5月7日(木)

担当	先生からのメッセージ
校長	<p>生徒の皆さん、こんにちは。臨時休業が今月末まで延長してしまい、皆さんと会えなくて、本当に悲しくて仕方ありません。ある日の夕方に、船迫小学校そばの公園で大人も子どもも入り交じって、多くの皆さんが運動をしている姿を見かけました。やはり、運動不足で、相当ストレスがたまっているのだらうなあと感じました。</p> <p>さて、私にとって、中学校といえば、「部活動」、「バレーボール」でした。先輩たちの2年連続県大会ベスト8入りを超えようと自分たちの力で頑張りましたが、県大会ベスト8止まりでした。1歳年下の後輩たちはさらに上を行き、県大会3位まで上りつめました。その時のコーチが私の父でした。やはり、専門の指導者が教えると違うのです。そこで、私は中学校の先生になって、生徒たちにバレーボールを教えたいと強く思いました。運良く新任の頃から現在までバレー部の顧問を任せられ、バレーを教えてほしいと願う生徒たちと多くめぐり会うことができ、「少しは役に立てたかな」と思っています。</p> <p>皆さんの中にも、熱い思いで部活動に励んでいる人が多いと思います。特に、運動部の3年生の皆さんは最後の中総体に向け、これまで精進してきたことと思います。しかし、5月1日(金)のメール、ホームページでお知らせしたとおり、今年の柴田郡中総体は中止となってしまいました。</p> <p>自分たちの練習の成果を試すことができないのは、本当に残念なことです。柴田郡中体連ではその代わりとして、「せめて3年生のために、規模を縮小した交流試合を行い、練習の成果を発揮させてあげたい」と考えています。期日や具体的な内容を検討しているところですが、感染のリスクをクリアしなければ実施できませんので、実施できる条件は厳しいです。社会情勢によっては、交流大会すらできない可能性もあります。部活動に「燃えてきた」私には、3年生の運動部の皆さんの残念な気持ちが痛いほど分かります。3年生の運動部の皆さんには、交流大会があることを信じ、それを目標に頑張ってもらいたいと思います。</p> <p>保護者の皆様には、このような状況になってしまい、大変ご迷惑をおかけしますが、コロナウイルス感染防止のため、そして子どもたちのために、何とぞご理解とご協力をお願いいたします。</p>

次のページに続く>>>

3 学年主任

4 月 8 日に始業式が行われ、3 年生代表の蓮さんの決意表明は、次の言葉から始まりました。「新学期が始まった今日から僕たち 3 年生は、すべてに最後がつきます。学校行事、部活動、何気なく過ごしている友達といる時間も、教室も、先生方も。」悔いのない一年間にするために、一日一日を大切にしながら過ごしていこうという思いが伝わってきました。

新型コロナウイルスによる不安が広がる中、何とか学校が再開されることを祈り、充実した生活を皆さんと送っていこうと意気込んでいましたが、臨時休業がさらに延長されることになってしまいました。皆さんと会えない日々が続くことは、大変残念でなりません。

さて、今年度の学年だよりのタイトルを「ニュートンのリンゴの木」としました。昇降口の傍らで一本の木がひっそりとたたずんでいます。そこにこんな説明がありました。

「この木はイギリスのニュートンの生家にある『万有引力の法則』の発見のきっかけとなったりんごの木を接ぎ木で育てたものです。1964 年にイギリスより東京大学に寄贈されて育てられた木の小枝を 2011 年に接ぎ木したものです。偉大な科学者が見ていた木がそっとあなたを見守っています。世界があなたを待っています。」

ニュートンがケンブリッジ大学で学位を取得したころ、イギリスでは、ペスト（14 世紀にはヨーロッパの人口の 3 分の 1 以上が死亡）の大流行があり、大学は一時閉鎖されました。ニュートンも郷里に戻り、大学が再開されるまでの一年半を、静かな環境で研究と思索に費やしたそうです。「ニュートンの三大業績」とされるものは、いずれもペスト禍を逃れて故郷に戻っていた休暇中に成し遂げられたため、この期間は「創造的休暇」と呼ばれています。困難な状況に不満をもつのではなく、その状況をどれだけ自分のためにプラスにできるのかが大切だと気づかされます。

今のこの状況を決して悲観せず、学校再開に向けて、できることにしっかりと取り組んでほしいと思います。